



学校教育目標

☆ともに学ぶ生徒

☆こころ豊かな生徒

☆ともに鍛える生徒

熊谷の子どもたちは、これができます！

「生きる力」= 学力・体力・やる気

- ㊦ 朝ごはんをしっかり食べる。
- ㊧ 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする
- ㊨ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う
- ㊩ 友だちをたくさんつくる。

「3減運動」

- ・テレビの時間
- ・ゲームの時間
- ・携帯電話やパソコンの時間



増やします！

- 家族との会話
- 予習・復習の時間
- 読書の時間

大人が手本となって



温故知新

温故知新は、「ふるきをたずねて、あたらしきをしる」と読み、「過去のことから学んで、新たな知識を得て、問題解決に活かしていく。」という意味です。これは論語のことばです。現代のものでなく、過去に書かれた本を読むことでも、新しい発見があります。最近、私は「論語と算盤」という本を読みました。これは、渋沢栄一が行った講演の内容をまとめたものです。

みなさんもお存知のように、渋沢栄一は、江戸時代の終わりの頃、深谷市に生まれ、今年の大河ドラマになり注目を集めています。明治から昭和にかけて活躍し、500社以上の会社の設立に関与し、「日本資本主義の父」と言われました。「論語」は道徳を、「算盤」は経済活動を表しています。明治の初めの頃は、道徳を考えずに、自分の利益を第一に商売をしている人がいたそうです。そのような状況は、新しい時代にも、世界にも通用しなくなります。そのため、商業道徳を身につけなければならない大切さを説きました。「道徳にかなったやり方で利益を追求しなくてはいけない。世の中全体が豊かになることで、自分の利益も増えていくので、公益を第一に考えるべきだ。」と、述べています。

ところで、経済や商業など、中学生のみなさんにとって、今はあまり関係がないのではとも思われるかもしれません。しかし、「論語と算盤」に書かれている内容は、将来あるみなさんに役に立つものがありますので、いくつかを紹介します。

○**立志について** 志を立てる際は、頭を冷静にして自分の長所と短所はどんなところかを比較してみる。一番の長所だと思えるところに向かって、志を定めるのがよい。

○**社会と学問の関係** 社会に出てみると学校の頃に机上で習ったことのように明確でない。例えば、地図を見る時と、実際に現地を歩いて見た時の違いに似ている。現実には、予想外のものがたくさん存在している。

○**人生の成功とは** どんなこととしても、富を築き、地位を得さえすれば成功だという意見に、私は全く賛同できない。意識を高く持って人格を養い、正しい道を歩んでいった結果として得られた富や地位でなければ、成功とはいえないのである。

ここだけでは、紹介しきれませんので、ぜひ「論語と算盤」を読んでみてください。

◆2年生校外学習(小鹿野町、長瀬げんきプラザ) 10月8日



実行委員を中心に、自主的に生徒が活動しました。ウォークラリー、フィールドワーク、キャンプファイヤーと盛りだくさんの内容を楽しむことができ、充実した校外学習でした。